



2025年5月期
決算説明資料

2025年7月10日

2025年5月期 実績 前期比 増収減益

- ✓ **売上高はアルミ地金市況との連動や為替影響などにより約63億円増収**
国内における建設市場の低迷や欧州でのEV向け販売量の減少が継続しているものの、アルミ地金市況に連動した売上の増加や国際事業における為替影響などにより増収。
- ✓ **営業利益はアルミ地金価格や物流費の増加などにより約22億円減益**
価格改定やコスト削減を進めたものの、国内事業におけるアルミ地金価格や物流費の増加、国際事業における製品不具合に伴う一時費用の計上などにより減益。

12ヵ月累計（2024年6月～2025年5月）

（億円）

	2025/5期 実績	2024/5期 実績	前期比		2025/5期 見直計画	見直計画比	
			増減額	%		増減額	%
売上高	3,594	3,530	+63	+1.8%	3,570	+24	+0.7%
営業利益	15	38	▲22	▲59.4%	30	▲14	▲48.5%
営業利益率	0.4%	1.1%	—	▲0.7p	0.8%	—	▲0.4p
経常利益	9	38	▲29	▲75.7%	20	▲10	▲52.8%
親会社株主に帰属する 当期純損失	▲23	▲10	▲13	—	2	▲25	—

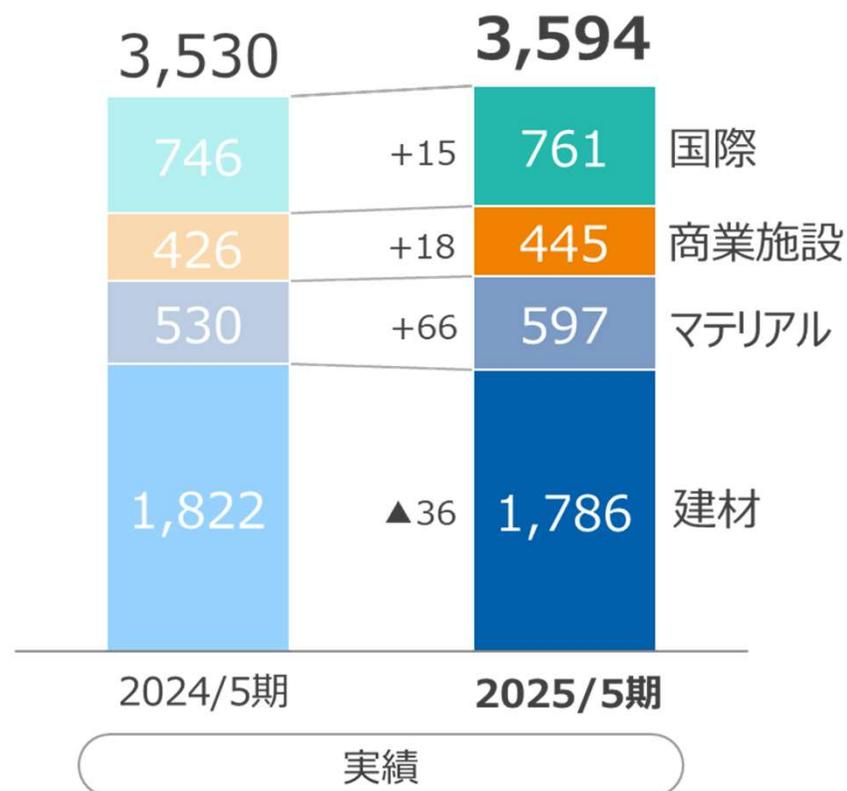
配当
1株当たり
中間配当 12.5円
期末配当 12.5円（予定）

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

売上高

3,594 億円

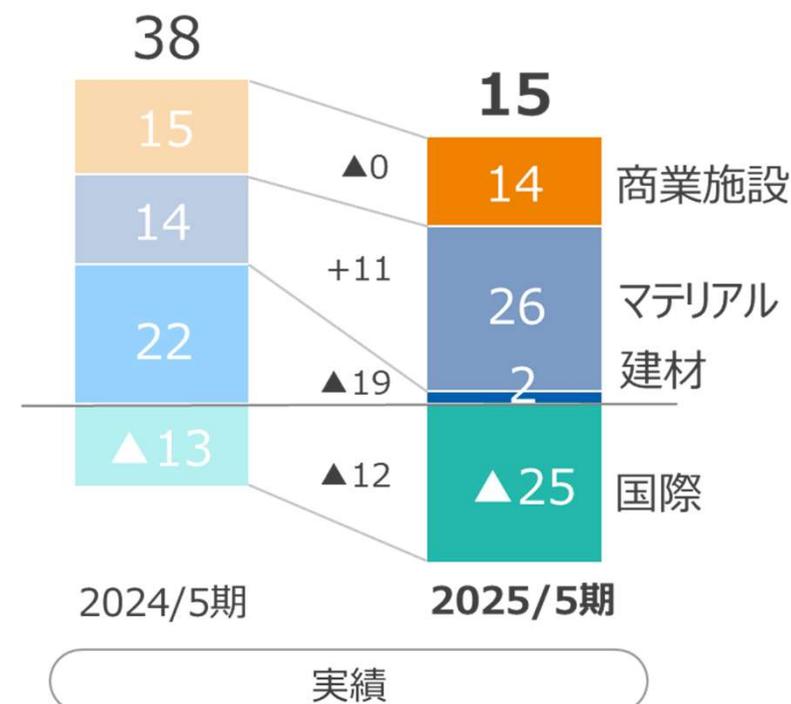
前期比 + 63 億円
(+ 1.8%)



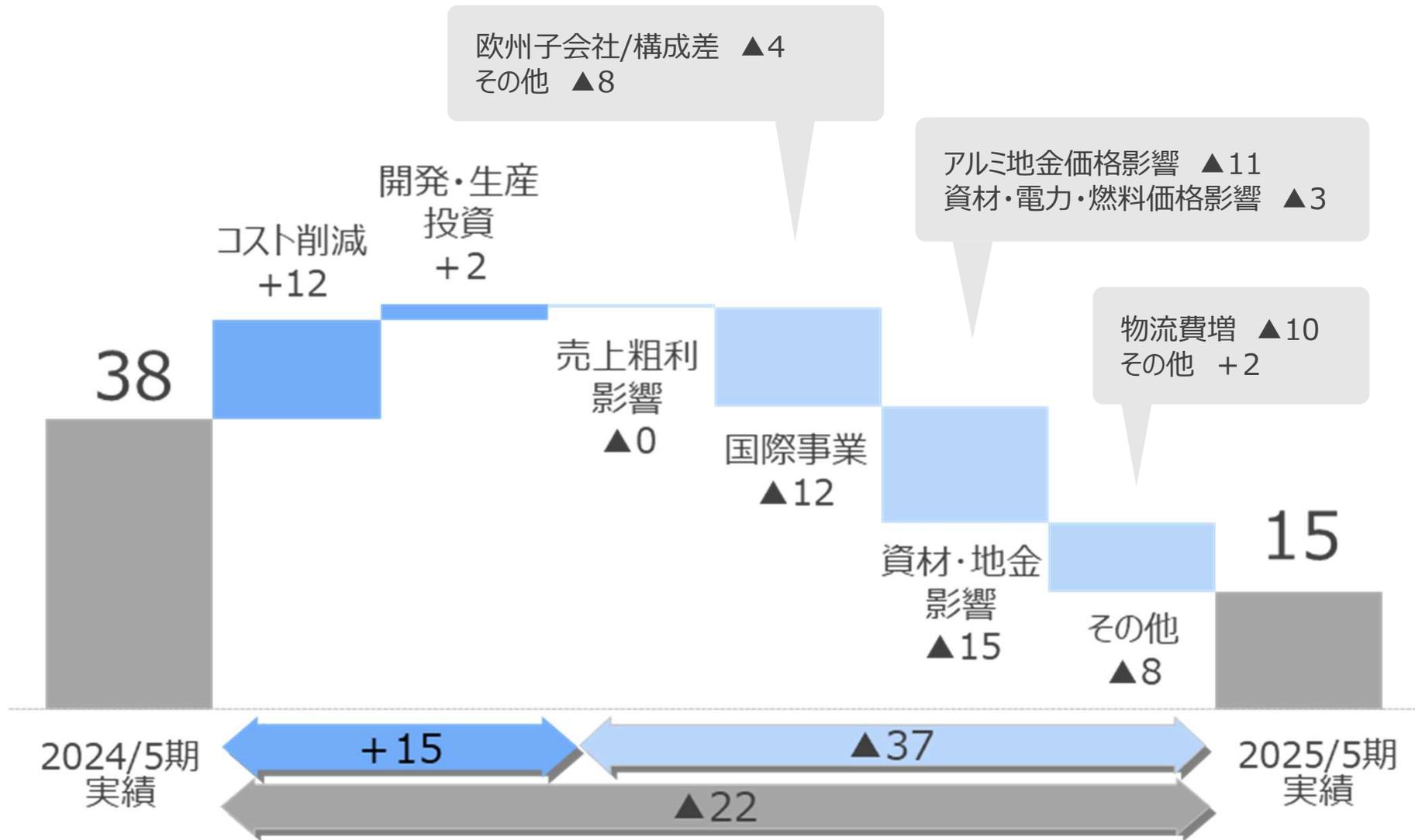
営業利益

15 億円

前期比 ▲ 22 億円
(▲ 59.4%)



※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

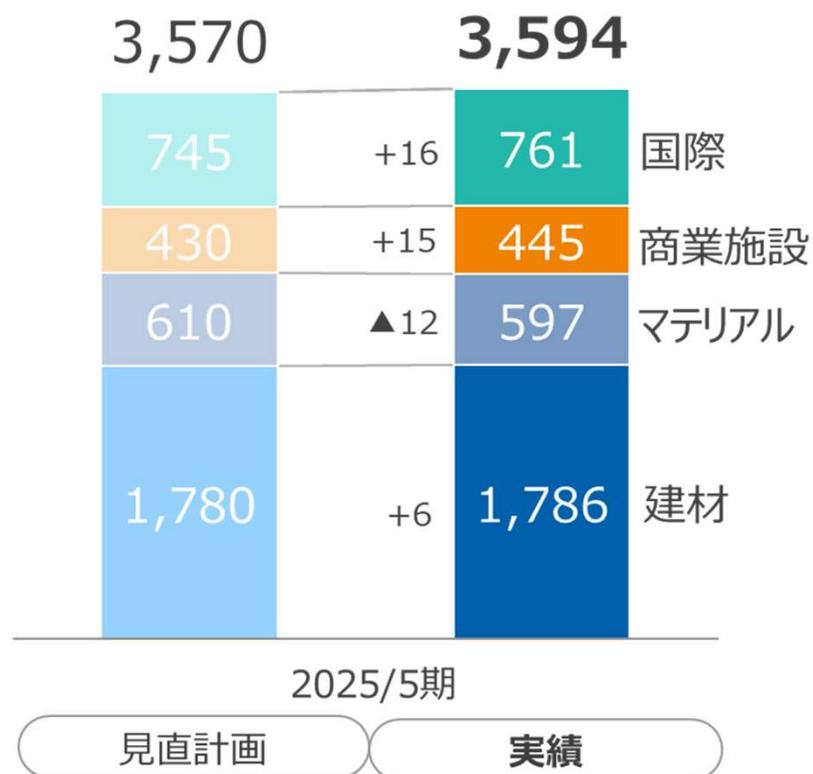


※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約
 ※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

3,594 億円

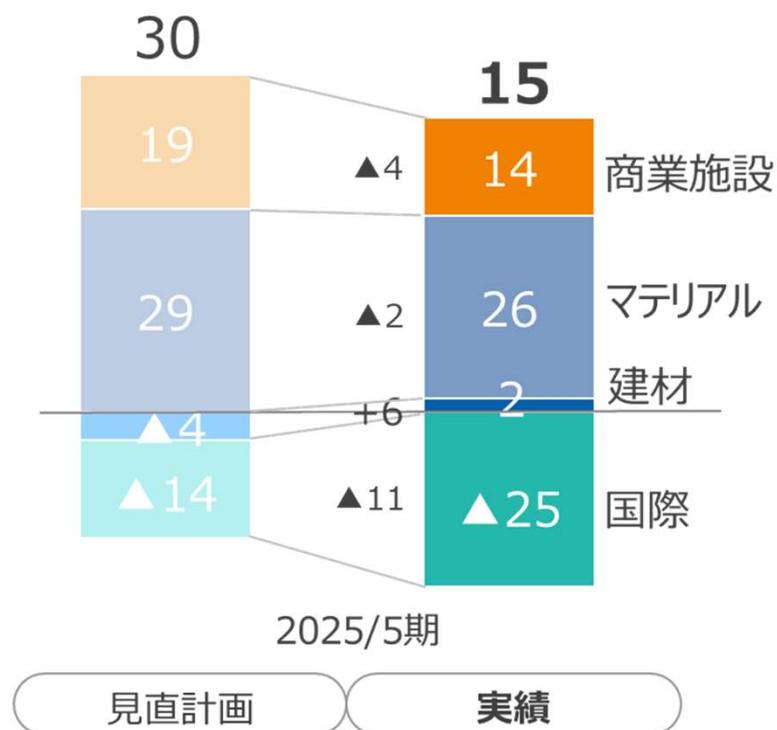
見直計画比 + 24 億円
(+ 0.7%)



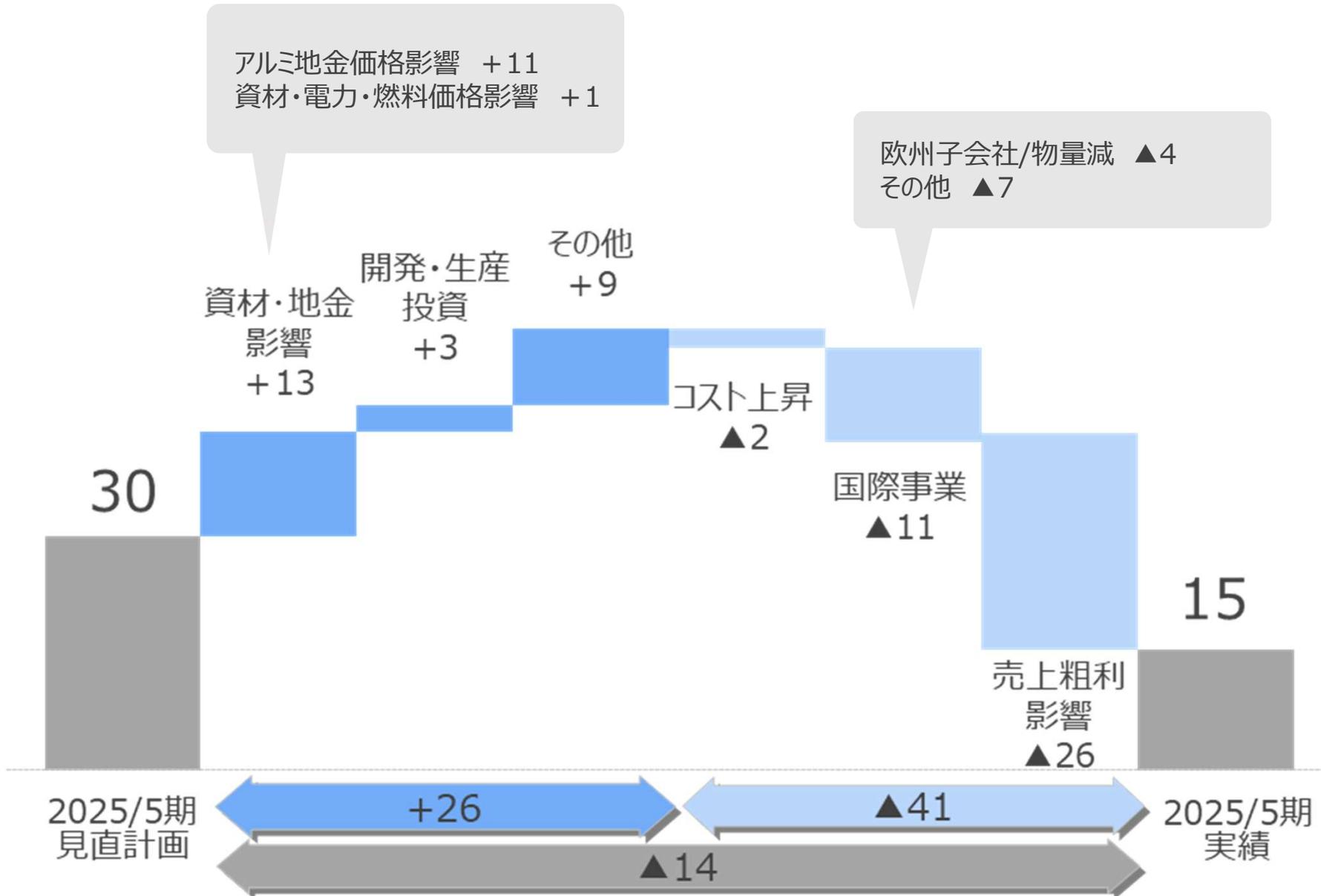
営業利益

15 億円

見直計画比 ▲ 14 億円
(▲ 48.5%)



※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約
※金額は億円未満切り捨て表示

2026年5月期 業績予想について

✓ 売上高は3,700億円、営業利益40億円

国内建設市場の需要減少影響を受け販売量の減少が継続するものの、アルミ地金市況に連動した売上の増加や価格改定などにより増収の見込。営業利益については、開発・生産投資の増加やアルミ地金および資材価格の上昇影響が継続する一方で、価格改定の効果などにより増益へ。

12ヵ月累計（2025年6月～2026年5月）

(億円)

	2026/5期 通期業績予想	2025/5期 実績			2026/5期 今中期経営計画		
			増減額	%		増減額	%
売上高	3,700	3,594	+105	+2.9%	3,700	—	—
営業利益	40	15	+24	+158.9%	75	▲35	▲46.7%
営業利益率	1.1%	0.4%	—	+0.7p	2.0%	—	▲0.9p
経常利益	20	9	+10	+111.7%	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	3	▲23	+26	—	—	—	—

配当

1株当たり 年間25円を予想

中間配当 12.5円

期末配当 12.5円

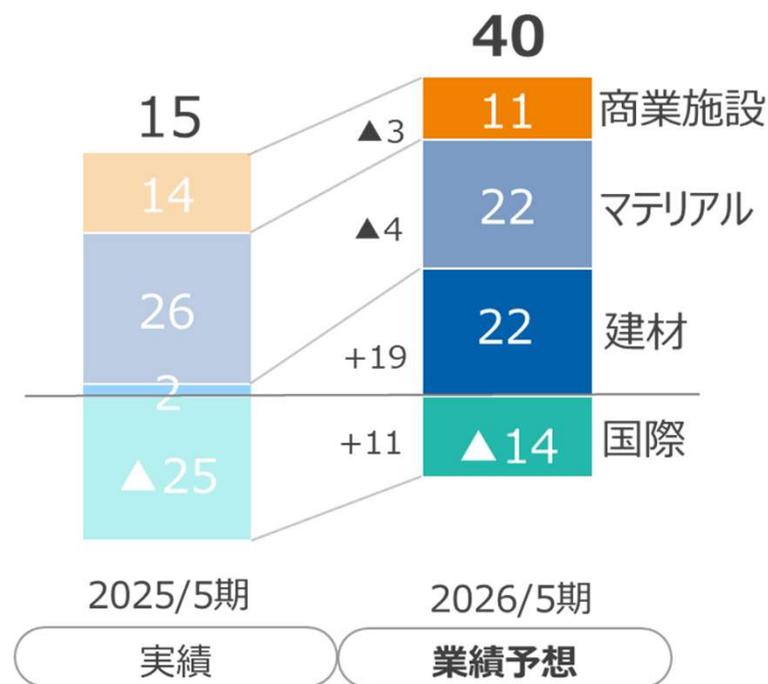
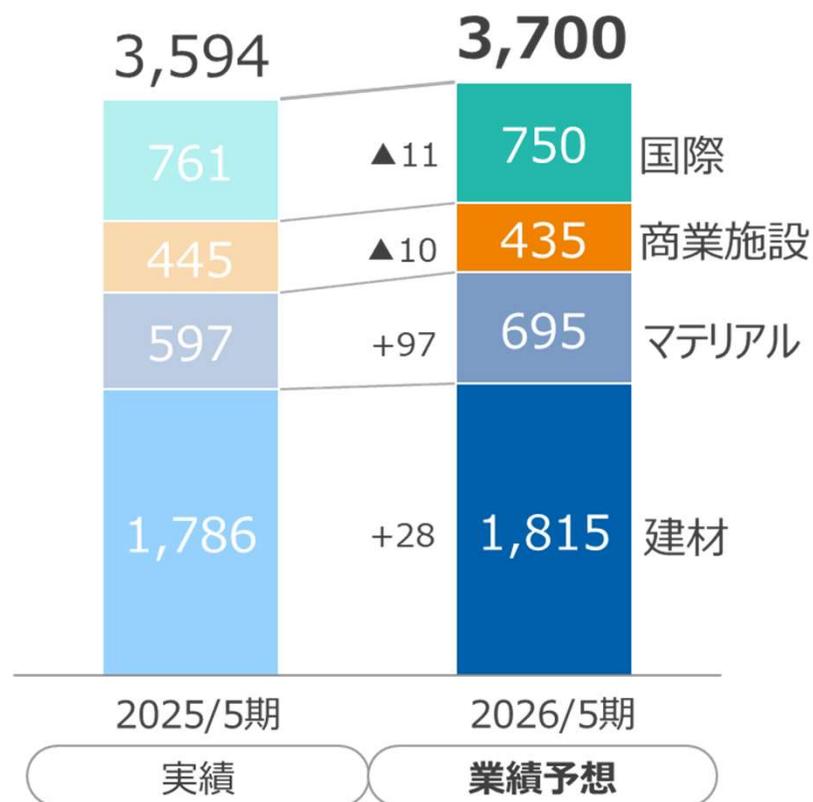
※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

売上高

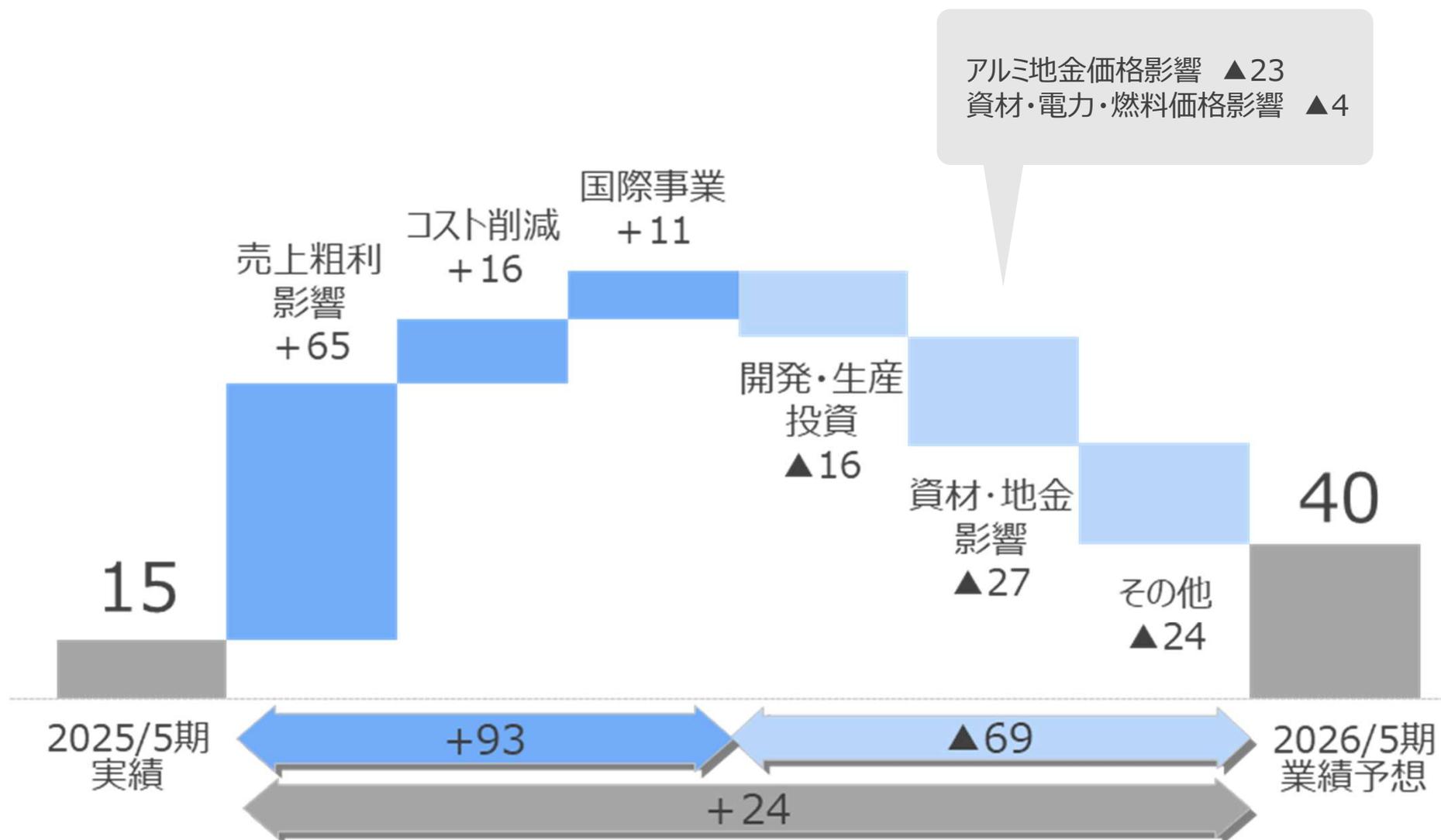
2026/5期
業績予想 **3,700 億円**
2025/5期
実績 **3,594 億円**
前期比 **+ 105 億円**

営業利益

2026/5期
業績予想 **40 億円**
2025/5期
実績 **15 億円**
前期比 **+ 24 億円**



※金額は億円未満切り捨て表示



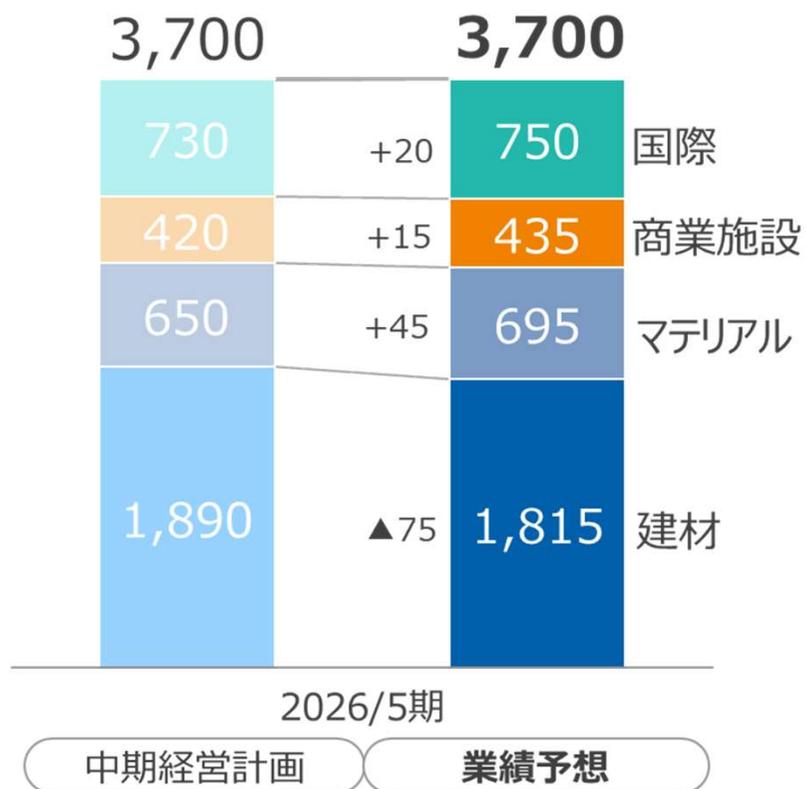
※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約
 ※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

2026/5期
業績予想 **3,700 億円**

中期経営計画 **3,700 億円**

今中期経営計画比 **— 億円**

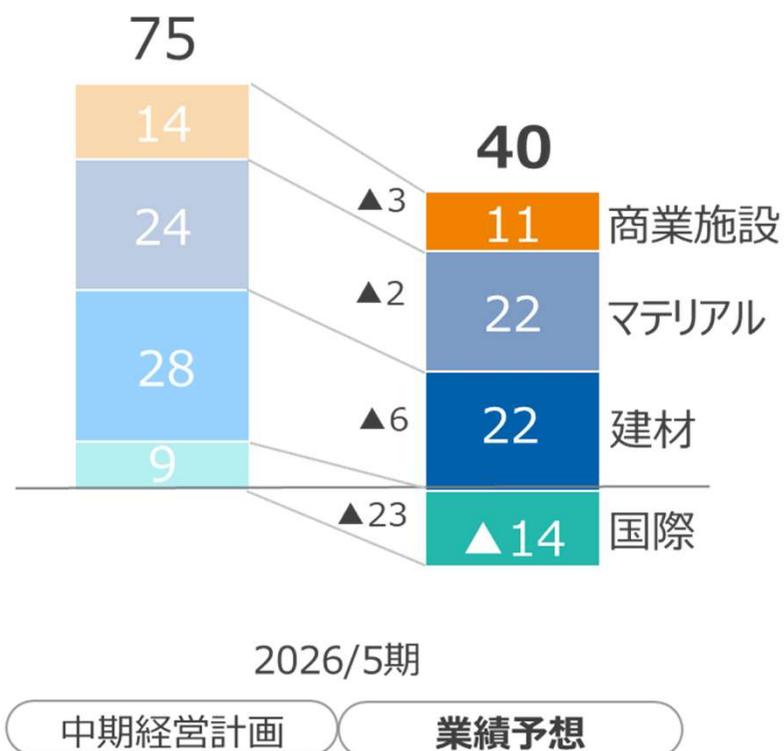


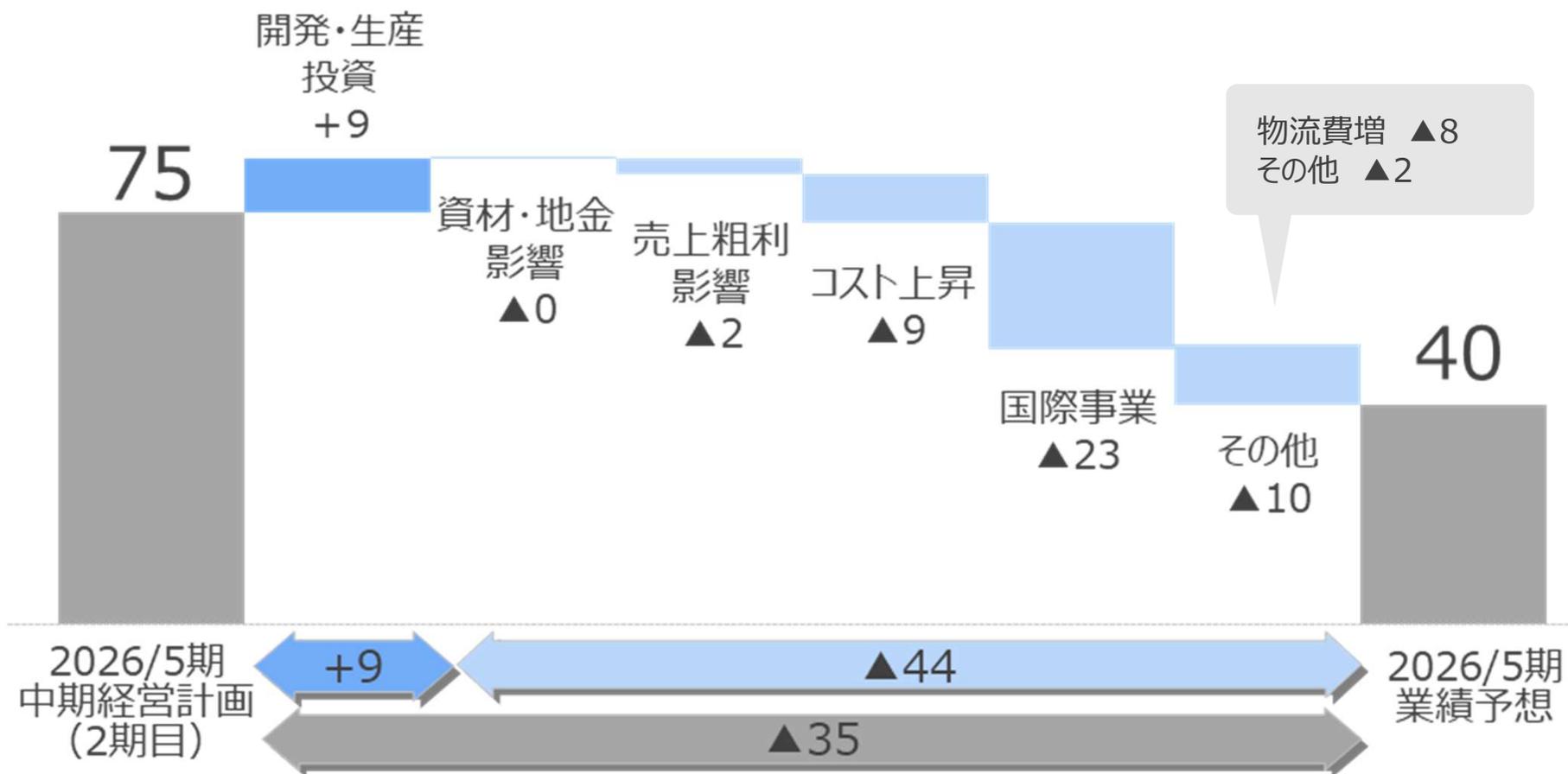
営業利益

2026/5期
業績予想 **40 億円**

中期経営計画 **75 億円**

今中期経営計画比 **▲ 35 億円**





※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約
 ※金額は億円未満切り捨て表示

国際事業の課題と現在進めている構造改革について

現状

国際事業は欧州事業とタイ事業に分かれており、2015年のセグメント化以降、欧州事業の不振による営業赤字が継続。

主要因

タイ事業は黒字だが、欧州事業の収益性改善が進まないこと

欧州事業は鉄道分野を含めた低収益事業の改革が遅れていることや、成長を目指してきたEV分野の鈍化影響などから今期も赤字計画。
(当初は今期2026年5月期にセグメント黒字化予定)



現在進めている改善策

- ✓ 収益性の低い事業の見直しと再構築
- ✓ 大幅な固定費の削減

目指す姿

外部環境変化にも耐えうる安定した収益力の確保

■ 欧州 / STEP-G ■ タイ3社 ■ その他 (本社費・連結消去など)

売上高 (億円)

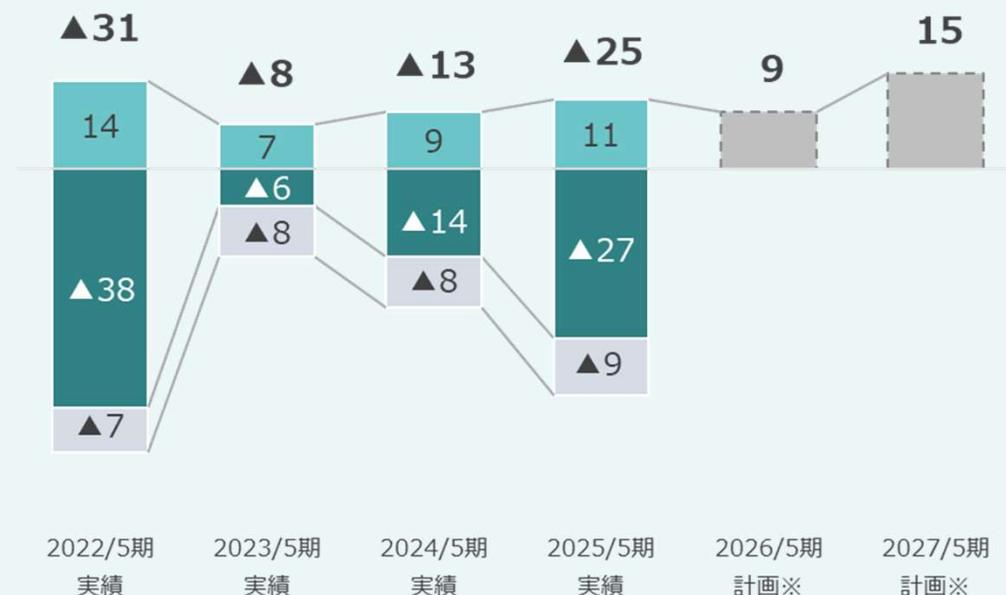


前中期経営計画

中期経営計画

※見直し前

営業利益 (億円)

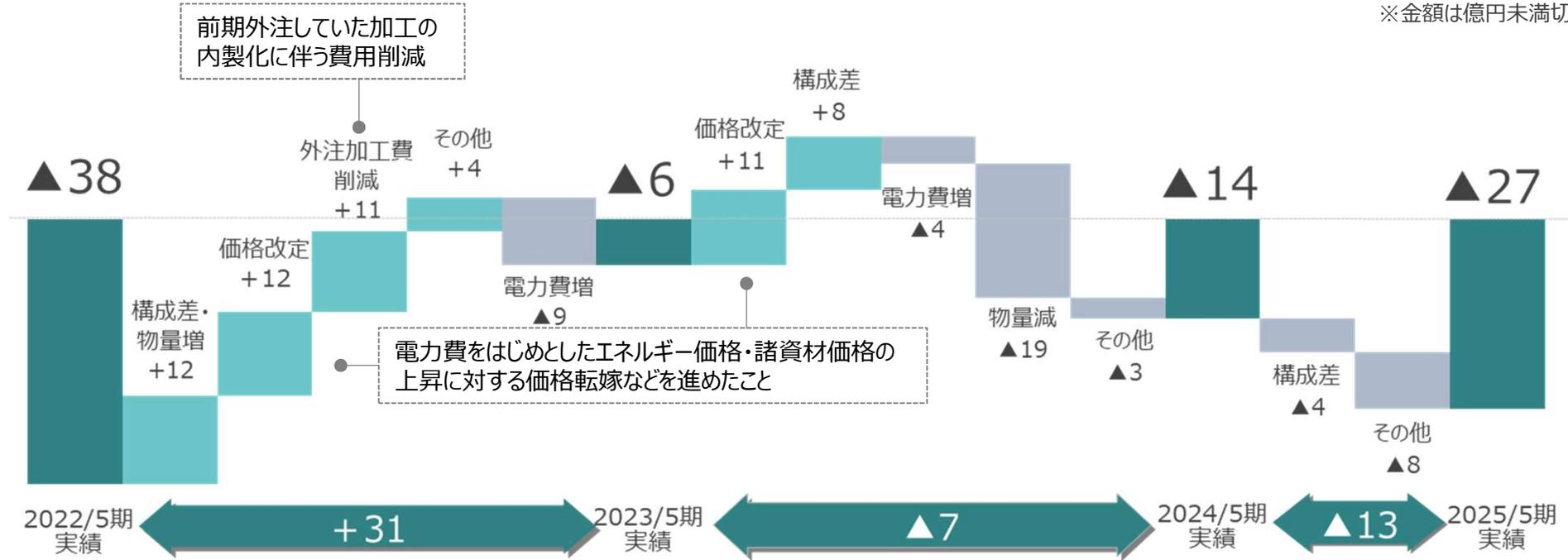


前中期経営計画

中期経営計画

※見直し前

※金額は億円未満切り捨て表示



販売重量推移 (STEP-G)

(千トン)



分野別販売重量構成比 (STEP-G)



Point 01

Bonn工場の鉄道向け部材の内部機械加工および内部溶接加工を停止

Point 02

停止により遊休となるエリアの土地建物を売却

- ▶ 売却益 2026年5月期 約1,900百万円※
- ▶ 契約締結予定日 2025年7月11日

Point 03

従業員100名程度の削減

- ▶ 一時費用 約1,200百万円※
- ▶ 収益改善効果 2027年5月期以降 約1,500百万円※
- ▶ 実施予定日 2026年3月末迄（予定）

（注）生産体制見直しの進捗に伴い、段階的に人員削減を実施

Point 04

追加施策

STEP-G全体でさらに従業員50名程度の削減を計画

※ 概算値



Bonn工場（ドイツ）

売上高（億円）



営業利益（億円）



欧州事業の構造改革を進めることで
来期に国際事業セグメント黒字化へ

※金額は億円未満切り捨て表示

高性能を維持しながら業界トップクラスのスリムフレームを実現 高断熱スリム窓「STINA（エスティナ）」発売



三協立山株式会社三協アルミ社は、基幹サッシ「MADiO（マディオ）」と「ALGEO（アルジオ）」の2シリーズを集約し、これまでのハイスパックサッシを継承した機能性とレジリエンス性を兼ね備えた高断熱スリム窓「STINA（エスティナ）」を発売。

ポイント

1. 《スマート》圧倒的な眺めと開放感
2. 《エコ》高い断熱性能
3. 《レジリエンス》暮らしを守る長期耐久性能
4. 内観色到新カラーを設定

4月17日（木）三協アルミ首都圏ショールームにおいて、「STINA」の商品説明会を開催



高断熱スリム窓「STINA」

当社では、住宅市場の縮小が予測される環境下において、「ものづくり構造改革」を推進し、製造現場へのロボット導入による自動化・省人化を進めています。さらに、住宅用・ビル用サッシの混流生産ラインの構築により、品質と生産性を両立した持続可能な供給体制の確立を目指しています。

● ニュースリリース ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2025news/hk20250417.html>

「住宅省エネキャンペーン2025」継続中 リフォーム商品「NOVARIS（ノバリス）」 売れ行き好調



住宅省エネ2025
キャンペーン



窓・ドアリフォーム
お悩み解決

2022年末より3省（経済産業省、国土交通省、環境省）の連携で行っている住宅省エネリフォーム支援「住宅省エネキャンペーン2025」において、建材事業におけるリフォーム関連商材の売れ行きが好調。

■リフォーム商品「NOVARIS（ノバリス）」シリーズ

サッシ：前期比（2024年6月～2025年5月累計）

売上高 約**135%**

玄関ドア：前期比（2024年6月～2025年5月累計）

売上高 約**109%**



リフォーム関連商材のさらなる拡販に向けて、販売および生産体制の強化に努めてまいります。また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、当社の断熱性能の高い製品の提供によりCO₂排出量削減に貢献してまいります。

 **住宅省エネ** 継続中！ 詳細はこちら ↓
2025キャンペーン

- 住宅省エネ2025キャンペーン 三協アルミ社ホームページより ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/hojokin/2025/>
- 三協アルミ社ホームページより「窓・ドアリフォームで暮らしのお悩み解決」 ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/reform/mado/>

アルミリサイクルの取り組み①

JR東海グループと三協立山が『東海道新幹線再生アルミ』を活用した建材を共同開発 三井不動産レジデンシャルの新築物件に初採用



東海旅客鉄道株式会社、三協立山株式会社、ジェイアール東海商事株式会社は、東海道新幹線車両のアルミをリサイクルした建材「Re♻️ALumi T」（リアルミ T）を共同開発。また、三井不動産レジデンシャル株式会社の新築物件において、「Re♻️ALumi T」がサッシとして初採用されることが決定。

◆「Re♻️ALumi T」の特長

- 『東海道新幹線再生アルミ』の高い強度・耐候性・表面処理性を生かした建材
- 新地金※を使用する一般的なアルミ建材と比べ製造時のCO2の排出量を大幅に削減でき、カーボンニュートラルの実現に寄与
- マテリアルリサイクルを通じて、アルミの国内循環比率を向上させることで、サーキュラーエコノミーの実現に寄与

※天然資源から抽出したアルミの原材料

低炭素アルミ建材
Re♻️ALumi T
For Circular Economy with SankyoAlumi
東海道新幹線再生アルミ仕様

（仮称）文京区向丘1丁目計画

三井不動産レジデンシャルが開発中
2025年9月完成予定
共同住宅のサッシに導入予定



※出典：三井不動産レジデンシャル株式会社

コートヤード・バイ・マリオット京都駅

JR東海グループとマリオット・インター
ナショナルが開発中
2026年度完成予定
客室のサッシに導入予定



※出典：東海旅客鉄道株式会社

●ニュースリリース ➡ <https://www.st-grp.co.jp/news/2024news/st20241121.html>

アルミリサイクルの取り組み②

セブン-イレブンの閉店・改装店舗からアルミ棚を回収する「水平リサイクル」の運用開始 ～循環型社会の実現に向け、新たなリサイクルフローを構築～



三協立山株式会社は、セブン-イレブンの閉店・改装店舗からアルミ棚を回収し、それらのアルミ棚を原料の一部として新たなアルミ棚を製造する「水平リサイクル※¹」の運用を開始。また、回収したアルミを使用したウォークイン※²アルミ棚を新店舗に導入。



新店舗に導入したウォークインアルミ棚



アルミ棚

※アルミ棚の上にローラーマットを乗せて使用

アルミ水平リサイクルフロー



※1. 使用済み製品を再原料化し、再び同一の製品を製造すること。

※2. 冷蔵した状態のまま商品を陳列できるガラス扉付きの什器で、後方にも商品補充用の扉がある。ペットボトル飲料の陳列で多く採用され、来店客が前方の商品を取り出すと、後方の補充用の商品が前方に滑り出す仕組みになっている。

●ニュースリリース ➡ <https://www.st-grp.co.jp/news/2025news/st20250319.html>

アルミリサイクルの取り組み③

解体した建物からアルミ建材を回収し

水平リサイクルを実現するための実証実験を開始



明治安田生命保険相互会社、株式会社竹中工務店、三協立山株式会社、株式会社シンワ、株式会社HARITA、有限会社豊栄金属は、竹中工務店が建築におけるサーキュラーエコノミーの実装を目指して掲げる「サーキュラーデザインビルド®」※のコンセプトに基づき、共同で建物解体時に生じるアルミ建材の水平リサイクル実現に向けた実証事業を開始。



※サーキュラーエコノミーを実現するために竹中工務店が提唱している、従来のスクラップ&ビルドから「つくる循環」「つかう循環」「つなぐ循環」をキーワードに、建築物の設計及び施工段階でリユース・リサイクル建材の選択や、解体を考慮した設計手法検討など、資源消費を最小化し廃棄物を出さない取り組みを称するもの。

●ニュースリリース ➔ <https://www.st-grp.co.jp/news/2025news/st20250423.html>

2025年5月期 サステナビリティニュース一覧



2024年11月

- 「とやまの森づくりCO₂吸収・固定量認定書」の受領



2025年2月

- CDP2024「気候変動」で「B」評価に認定
- サーキュラーパートナーズへの参画

2025年3月

- 「三協立山グループ人権方針」制定



「ツインリーフの森づくり」活動の様子



2025年5月

- 「ツインリーフの森づくり」(第23回) 活動を実施
- CO₂フリー電力導入を新たに石川工場に導入
- 三協立山グループ「全社一斉清掃活動」の実施



清掃活動の様子



● サステナビリティニュース ➡ <https://www.st-grp.co.jp/sustainability/news/2025news.html>

2025年5月期 下期（2024年12月～2025年5月）商品リリース一覧



建材事業
(三協アルミ社)



商業施設事業
(タテヤマアドバンス社)

2024年12月



建材事業

サイクルポート「FⅡ リンクロス」 発売

2025年1月



商業施設事業

店舗用システム陳列棚 タテヤマゴンドラ「KLシリーズ」 発売

2025年2月



建材事業

機能ポール「フレムスGrand」 発売



建材事業

高断熱玄関ドア「プロノーバ2」 発売

2025年3月



建材事業

型材門扉・型材フェンス「シャトレナⅡ」 シリーズ拡充

2025年4月



建材事業

カーポート型太陽光パネル架台「エネジアース」後方支持タイプ 開発



サイクルポート「FⅡ リンクロス」



型材門扉・型材フェンス「シャトレナⅡ」

●ニュースリリース（建材事業／三協アルミ社） ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2025news/news2025.html>

●ニュースリリース（商業施設事業／タテヤマアドバンス社） ➡ <https://advance.st-grp.co.jp/news/>

	対象期間	2022年	2023年	2024年
【建材事業（住宅）指標】 新設住宅着工戸数	4月-3月	86.1万戸 (0.6%減)	80.0万戸 (7.0%減)	81.6万戸 (2.0%増)
新設住宅着工戸数[持家]	4月-3月	24.8万戸 (11.8%減)	22.0万戸 (11.5%減)	22.3万戸 (1.6%増)
新設住宅着工戸数[貸家]	4月-3月	34.7万戸 (5.0%増)	34.0万戸 (2.0%減)	35.7万戸 (4.8%増)
【建材事業（ビル）指標】 非木造建築物着工床面積	4月-3月	69.9百万㎡ (0.4%増)	63.4百万㎡ (9.3%減)	59.2百万㎡ (6.7%減)
【マテリアル事業指標】 アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く]	6月-5月	31.1万 t (4.1%減)	35.3万 t (13.5%増)	35.0万 t (0.9%減)
【商業施設事業指標】 建築着工棟数[店舗]	4月-3月	5,734棟 (4.4%増)	5,212棟 (9.1%減)	5,760棟 (10.5%増)
【国際事業指標】 ドイツ自動車生産台数	4月-3月	375.7万台 (25.9%増)	400.4万台 (6.6%増)	417.0万台 (4.2%増)
タイ自動車生産台数	4月-3月	192.0万台 (13.1%増)	174.8万台 (9.0%減)	140.7万台 (19.5%減)
【アルミ地金価格平均値】 [日本経済新聞より]	6月-5月	394.6円/kg	404.0円/kg	464.5円/kg

日本アルミニウム協会公表値の集計区分に変更あり。前年と同条件では前年同期比で約4%増と推定。

() は前年同期比

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減	増減	'24/5期	'25/5期	増減	増減
1Q	449	439	▲10	▲2.3%				
2Q	481	477	▲4	▲1.0%	931	916	▲14	▲1.6%
3Q	445	435	▲10	▲2.3%	1,376	1,351	▲25	▲1.8%
4Q	445	434	▲11	▲2.5%	1,822	1,786	▲36	▲2.0%

- 価格改定の浸透
- 2025年4月の建築基準法および建築物省エネ法改正による一時的な新設住宅着工の駆け込み需要
- エクステリア市場縮小の影響など

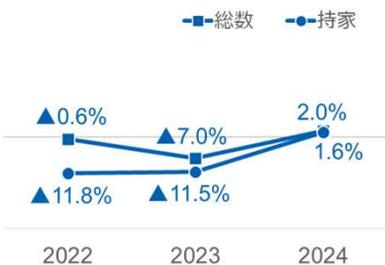
セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減	増減	'24/5期	'25/5期	増減	増減
1Q	▲3	▲4	▲1	-				
2Q	9	12	+2	+21.9%	6	7	+0	+11.2%
3Q	4	▲0	▲4	-	11	7	▲4	▲35.4%
4Q	10	▲4	▲15	-	22	2	▲19	▲89.4%

- アルミ地金価格の上昇
- 物流費の増加など

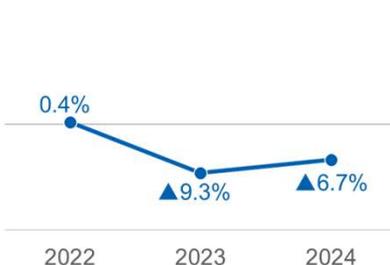
事業環境

新設住宅着工戸数
(前年同期比)



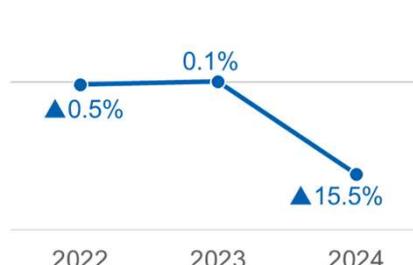
出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

非木造建築物着工床面積
(前年同期比)



出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

ビル用アルミサッシ販売重量
(前年同期比)



出典：経済産業省 生産動態統計

アルミ地金価格[日経平均]

※4~3月
累計



出典：日本経済新聞

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減	増減	'24/5期	'25/5期	増減	増減
1Q	140	138	▲1	▲0.9%				
2Q	137	149	+12	+8.8%	277	288	+10	+3.9%
3Q	120	151	+30	+25.6%	398	439	+41	+10.5%
4Q	132	157	+25	+18.9%	530	597	+66	+12.6%

- 建材分野や輸送分野の市場低迷
- アルミ地金市況に連動した売上の増加

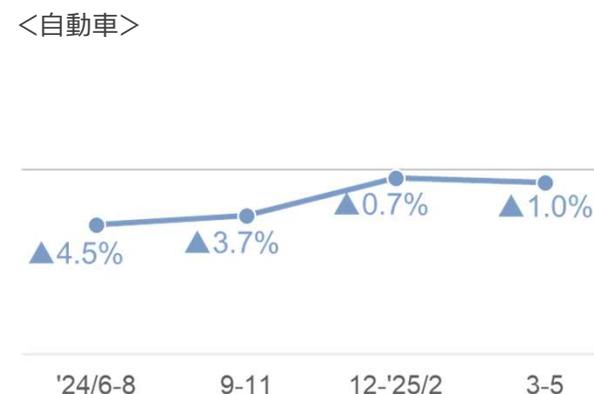
セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減	増減	'24/5期	'25/5期	増減	増減
1Q	4	6	+1	+31.2%				
2Q	10	9	▲0	▲9.3%	15	15	+0	+3.4%
3Q	▲0	5	+5	-	14	21	+6	+41.7%
4Q	▲0	4	+5	-	14	26	+11	+77.3%

- コスト削減効果
- 減価償却方法の見直しなど

事業環境

国内アルミ型材押出重量（前年同期比）



出典：日本アルミニウム協会統計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減	増減	'24/5期	'25/5期	増減	増減
1Q	97	103	+6	+6.2%				
2Q	124	127	+2	+2.3%	222	230	+8	+4.0%
3Q	90	89	▲0	▲0.9%	312	320	+8	+2.6%
4Q	114	124	+10	+9.0%	426	445	+18	+4.3%

- 小売業界における業態の枠を超えた競争の激化やインバウンド需要増加を背景とした新規出店や店舗改装の積極的な投資需要の取り込み

セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減	増減	'24/5期	'25/5期	増減	増減
1Q	2	2	+0	+14.8%				
2Q	7	8	+0	+5.4%	10	10	+0	+7.7%
3Q	0	▲0	▲1	-	11	10	▲0	▲4.7%
4Q	4	3	▲0	▲5.1%	15	14	▲0	▲4.8%

- 物流費などの様々なコスト増加
- 価格改定を含む収益改善策の遅れ

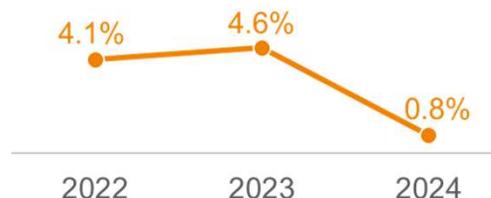
事業環境

建築着工棟数[店舗] (前年同期比)



出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

小売業販売額 (前年同期比)



出典：経済産業省 商業動態統計調査

※4~3月累計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減	増減	'24/5期	'25/5期	増減	増減
1Q	196	202	+5	+3.0%	381	385	+3	+1.0%
2Q	184	182	▲2	▲1.2%	554	558	+4	+0.8%
3Q	172	173	+0	+0.3%	746	761	+15	+2.0%
4Q	192	202	+10	+5.7%				

- 欧州子会社においてドイツのEV販売台数減少の影響が大きくあったものの、為替影響による増収効果と卸売向けの販売量が増加
- タイ子会社における電子機器分野などの伸長

セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減	増減	'24/5期	'25/5期	増減	増減
1Q	2	1	▲1	▲56.7%	▲6	▲15	▲9	-
2Q	▲9	▲16	▲7	-	▲10	▲17	▲7	-
3Q	▲3	▲1	+1	-	▲13	▲25	▲12	-
4Q	▲2	▲8	▲5	-				

- EV販売台数の鈍化に伴う販売構成の変化
- 製品不具合に伴う一時費用の発生など

事業環境

自動車生産台数（前年同期比）



出典：VDA MARKLINES

ドイツ自動車販売台数およびEV販売台数・シェア



出典：KBA（ドイツ連邦陸運局）

GDP（国内総生産）（前年同期比）



出典：EUROSTAT, NESDC, CEIC

貸借対照表

2024/5期

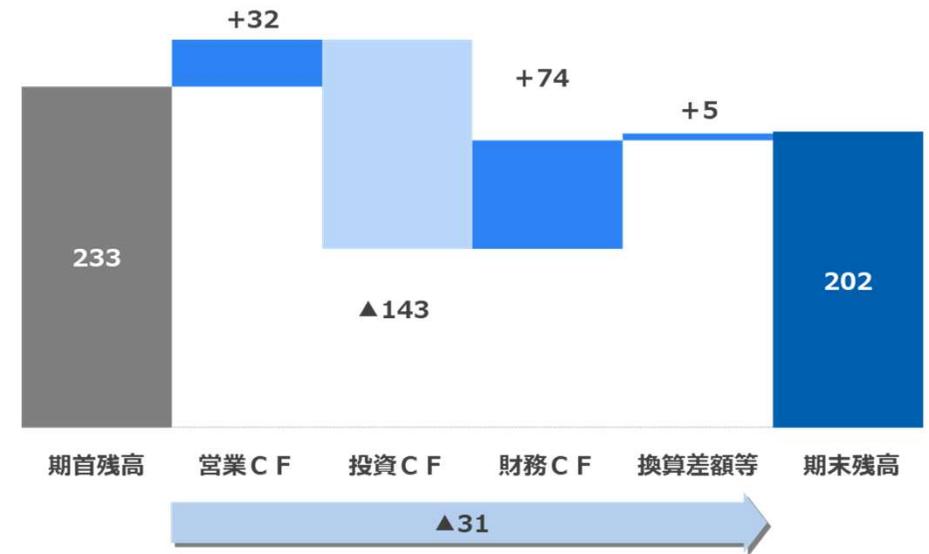
2025/5期

流動資産 1,456	流動負債 1,188	流動資産 1,477	流動負債 1,220
	固定負債 716		固定負債 836
固定資産 1,442	純資産 994	固定資産 1,527	純資産 948

	2024/5期 期末	2025/5期 期末	前期末比
総資産	2,899	3,004	104
自己資本	961	912	▲ 48
自己資本比率	33.2%	30.4%	▲2.8p
有利子負債	781	872	90
有利子負債比率	81.3%	95.6%	14.3p

※自己資本 : 純資産 - 非支配株主持分
 自己資本比率 : 自己資本 / 総資産
 有利子負債 : 短期借入金 + 長期借入金 + 社債
 有利子負債比率 : 有利子負債額 / 自己資本

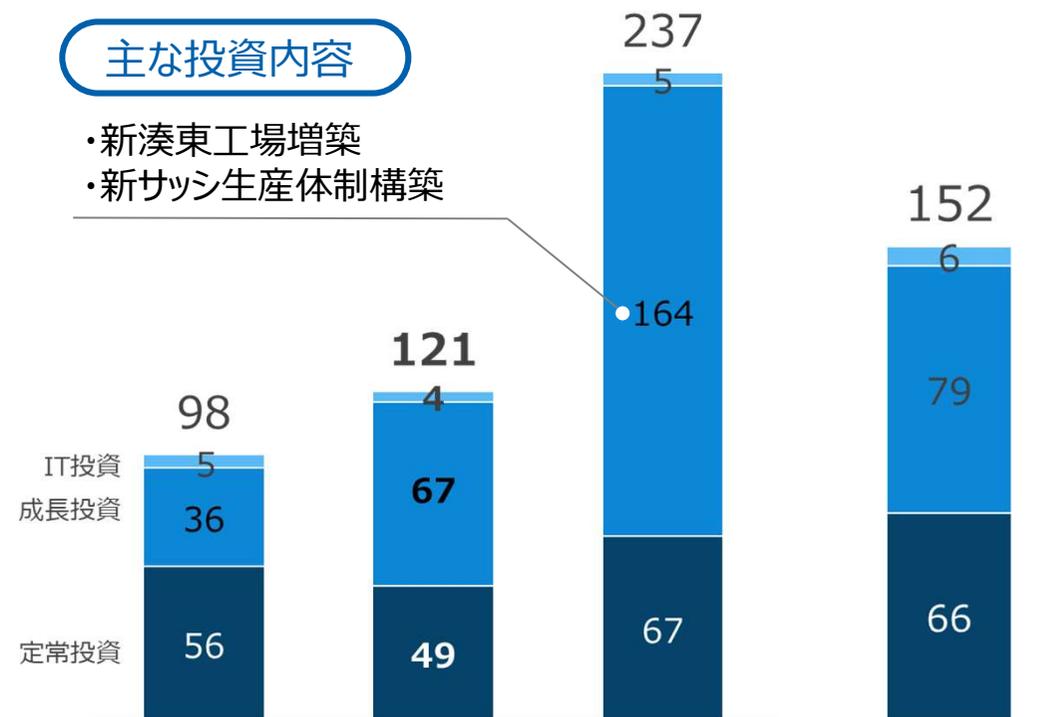
キャッシュ・フロー



営業CF	32	投資CF	▲143	財務CF	74
税金等調整前 当期純利益	▲4	有形固定資産の 取得による支出	▲132	短期借入金純増減 (▲は減少)	▲65
減価償却費	82	その他	▲10	長期借入れによる 収入	352
売上債権の増減 (▲は増加)	▲6			長期借入金の 返済による支出	▲197
棚卸資産の増減 (▲は増加)	▲2			配当金の支払額	▲7
仕入債務の増減 (▲は減少)	▲19			その他	▲7
法人税等の支払額	▲15				
その他	▲1				

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

※金額は億円未満切り捨て表示
 ※すべて資産計上ベース



【内訳】	2024/5期 実績	2025/5期 実績	2026/5期 計画	2027/5期 計画
定常投資	56	49	67	66
成長投資	36	67	164	79
IT投資	5	4	5	6
合計	98	121	237	152
(うち海外子会社)	(35)	(50)	(33)	(45)
減価償却費	87	82	94	

連結および持分法の適用範囲

(社)

	2024/5期 期末	2025/5期 期末	前期末比
連結子会社	46	45	▲ 1
持分法適用会社	6	6	-
合計	52	51	▲ 1

人員の状況（正社員）

(名)

	2024/5期 期末	2025/5期 期末	前期末比
三協立山	4,822	4,686	▲ 136
連結子会社	5,467	5,326	▲ 141
合計	10,289	10,012	▲ 277

計画前提・実績

		期中 平均値	2024/5期 実績	2025/5期 前提 (通期)	2025/5期 実績	2026/5期 計画前提
アルミ地金価格 (日本経済新聞)		6~5月	404.0円/kg	435.0円/kg	464.5円/kg	455.0円/kg
為替	ドル	4~3月	144.6円	150.0円	152.6円	145.0円
	ユーロ	4~3月	156.7円	160.0円	163.9円	160.0円
	バーツ	4~3月	4.1円	4.0円	4.4円	4.0円
	元	4~3月	20.1円	21.0円	21.1円	21.0円

サステナビリティビジョン2050 Life with Green Technology

～「環境技術でひらく、持続可能で豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～

カーボンニュートラルへの挑戦

事業活動に伴う温室効果ガス排出削減と、環境技術で創出する商品・サービスによる温室効果ガス排出削減貢献とのバランスにより、カーボンニュートラルを目指します。

資源の循環

循環型社会の実現に向けて、主要原材料の循環使用の促進と、廃棄物の再資源化を推進します。

人財を未来へつなぐ

多様性や人権を尊重し人材育成を推進することで活力ある企業風土を創出し、豊かな暮らしを実現する原動力となる「人財」を未来につないでいきます。

2030年度目標

温室効果ガス排出量

Scope1+2 **50%減** (2017年度比)

Scope3 **25%減** (2022年度比)

対象：三協立山グループ

建材向け
アルミリサイクル率 **80%**

課題の対応により100%を目指す

女性管理職比率

10%

Scope1：自社での燃料の使用に伴う直接排出
Scope2：自社が購入した熱・電力の使用に伴う間接排出
Scope3：自社の事業活動の上流及び下流のプロセスでの排出

*1：個別製品ごとの指標を表すものではありません
*2：対象とする拠点は、国内製造拠点
*3：社内の製造工程で生じた端材を含みます

■ 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、国内外の経済環境、為替相場の変動など様々な要因により、大きく変動する可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。